

第1回卒後教育部放射線部会 勉強会

日時：平成27年5月16日（土）

場所：大阪市阿倍野市民学習センター第2会議室

報告者： 夏日 勇人

プログラム

- ・ ～ある日の“初”当直ものがたり～

西環先生

- ・ 3D Arterial Spin Labeling 法の撮像条件が灌流画像に及ぼす影響

石田敏久先生

- ・ 一般撮影について ～ディスカッション～

宮原哲也先生、夏日勇人

報告事項

今回の勉強会は、平成27年度の第1回となる勉強会で、今年度入職された方が多く参加されました。1年目において、つまづくことが多い当直業務と一般撮影についての発表があり、大変有用であったと思います。西先生の初めての当直業務では、10年間治療部門を務められ、その後、診断部門へ移られた技師として、経験談をユーモアを交えながら発表されました。引きこまれるような発表でした。石田先生の発表では近年急速に普及してきたMRIの3D Arterial Spin Labeling法に関する発表でした。造影剤も放射線も使わず非侵襲的に脳の血流が求めることができ、認知症の早期発見につながるもので、そのパラメータを変更することでどのように画質を上げるかという内容でした。すごく勉強になるものでした。そして最後は、一般撮影のディスカッションを同期の宮原先生と私がさせていただきました。前回は脊椎領域の発表が中心でしたので、今回は私が股関節、宮原先生が足関節を発表し、後半には前回好評だったイマキク・スグキクを用いて全員参加型の一問一答形式のQ&Aを行い、この画像を見てどのように修正するのか、どこをどう見分けるのか等、参加者を交え議論でき、大変盛り上がったと思います。今後ともこのようなディスカッション形式を行いますので、次回以降も皆様ぜひ参加をお願いします。

